

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

カーニバル休暇前後のドルレアルスポット相場は上下動あったもののレアル高値圏でもみ合いとなりました。休暇直前の金曜日は1月の財政収支が市場予想対比芳しくなかったためレアル売りとなり2.34近辺で取引を終えましたが、休暇後の相場はウクライナでの軍事衝突が避けられる見通しとなったため全般的にリスク回避が弱まった上にレアルの高金利を狙ったフローが入っているとの噂からレアルは買い戻され一時2.30近辺までレアル高となりました。しかし、2月の貿易統計が今年に入って2ヶ月連続の赤字となつたことが発表され、前年同月までの赤字対比増加したことなどから懸念が広がったためレアルは売り戻され、結局2.32台前半で引けています。

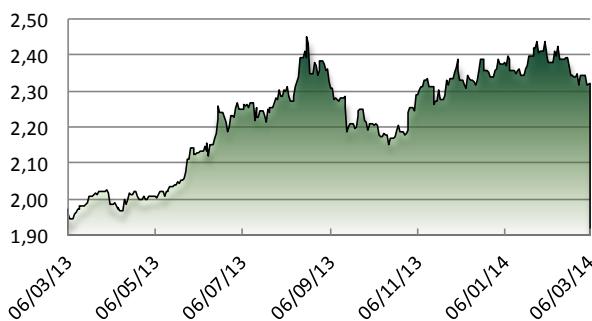
最近のレアル相場は政府の歳出削減目標発表をきっかけとしてレアル高が進んでいます。ウクライナ情勢など不安要素もありますが、その分商品相場が上昇を続けていることや高金利を狙ったフローがレアルを押し上げているようです。新興国の中で選別が進んできたとすればレアルにとって良い兆候ですが、緊縮財政によりプライマリー収支目標達成を掲げたものの1月の財政収支は歳出増によって市場予想を大幅に下回っており早くも政府の姿勢に懸念が高まっていますから依然として継続的なレアル高の素地が作られたとは言い難い状況です。結局、現在のレアル高は調整でありテクニカル的には昨年の介入プログラム導入後のレアル高値2.14台後半から今年のレアル安値2.45近辺へレアルが売られた分の半値戻しであるおよそ2.30近辺を達成しており、値幅調整が終わった可能性があると見ています。

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月5日	3月6日	前日比	2月6日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	44,12	44,35	+0,23	42,87	+1,48
USD / BRL Spot	BRL	2,3188	2,3239	+0,0051	2,3819	-0,0580
USD / JPY Spot	JPY	102,30	103,07	+0,77	102,11	+0,96
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	46.589	47.093	+504	47.738	-645
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	164,0	162,3	-1,7	186,1	-23,8
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,50	12,58	+0,08	13,00	-0,42
DI Future Apr15 (金利先物)	%	11,28	11,30	+0,02	11,73	-0,43
3 Months US Dollar Libor	%	0,234	0,235	+0,001	0,237	-0,002
CRB Index (国際商品指数)	Index	306,1	307,6	+1,5	287,2	+20,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

